

住宅地における駐車問題について

大阪大学工学部 正員 毛利正光

同上 正員 ○塚口博司

同上 学生員 側瀬充洋

1はじめに 駐車問題は古くて新しい問題である。路上駐車問題は都市空間の配分に関する問題であり、都市空間をいかに利用していくかの議論のなかで考えられなければならない。道路整備が進むなかで、これらの道路ストックを有効に利用していくに当たって駐車の問題は一つのキーになると考えられる。本稿では住区内街路における駐車問題を扱う。

2検討課題 住宅地における駐車に関する検討課題を整理すると次のようである。

a 路上駐車の種類、発生量に関する検討

b 路上駐車の影響に関する検討：路上駐車は危険なのか、路上駐車により歩行者空間が侵食されていないか等。

c 住区内街路における駐車管理に関する検討：住区内街路で処理せざるを得ない駐車があるのか、もしあるならば、どのような駐車をどの程度許容できるか。

本稿では、主としてaについて論じることとする。住区内街路において発生する駐車は次のように区分できよう。

- ・住民の車
 - ・住民以外の車
- └─ 当該地区への来訪者の車
- └─ 隣接地区関係者の車

このうち、住民の車についてはいわゆる『車庫法』により路外に保管スペースが設けられているはずであるが、これがどの程度機能しているか、あるいは通常路上駐車していると思われる地区への来訪者の駐車がどの程度発生しているのかについて述べることにしたい。ここで使用するデータは堺データ【世帯配布による住民意識調査、1981年実施、データ数 892、地区数 2】、吹田・豊中データ【世帯配布による住民意識調査（1983年実施、データ数 985、地区数 22）】、路上駐車実測調査（1984年実施、地区数 5）、路上駐車ドライバーに対する意識調査（1985年実施、データ数 65）】である。

3路上駐車車両の内訳 既成市街地で戸立住宅の多いA、B地区ならびに新市街地の集合住宅地区であるC、D地区において、8時から22時まで1時間毎に路上駐車車両を調査し、駐車車両のうちで軽車両を除いた普通自動車について使用者の住所分布を示すと表-1のようであり、市外居住者の車が多く、地区住民の車が非常に少ないように思われる。問題を明確にするために8時および22時に駐車していた車両だけを対象に同様の整理を行うと表-2のようである。夜間の駐車についても地区住民の駐車は全体では1割強に過ぎない。しかしながら、夜間に駐車場および路上に駐車していた台数とアンケート調査から求めた自動車保有率を用いて推定した地区住民の自動車保有台数とを比較すると表-3のようであって両者はほぼ一致している。これは表-2において他地区の住民の駐車と思わ

れていたものがほとんど当該地区住民の駐車であって、住民が種々の経緯を経て居住地に車庫を持たず路上を車庫がわりに使用している実態が明らかとなる。これは表-4に示すように路上駐車ドライバーに対して行った調査において、

約8割が車庫がわりの駐車となっていることから裏付けられる。したがって車庫法が有効に機能していないことをまず認識しておかなければならない。また、車庫法

の対象外である軽自動車の駐車が多いことにも注意すべきであり、表-1、2からもうかがえるように場合によっては周辺地区住民による駐車が問題となることもあろう。4 来訪者による駐車発生量 一般に住居系地区への来訪者の駐車は通常路上で行われているから、これらの発生量を把握することも重要である。表-5には4つの地区および地区群について自動車による来訪回数^①を示してある。ゴミの回収等は駐車の対象とはならないが、駐車を伴うものについては表-5を用いて来訪者による駐車需要を概算することができる。

5 まとめ 住区内街路は本来駐車のための空間ではないが、現実には路上駐車に使用されることが多く、現状のまま放置すると車庫法の制度自体を揺がすこととなろう。車庫法を堅持し、これを強化していくか、あるいは場合によっては公平さを確保したうえで適用を若干緩和していくかは住区内街路を計画する際に非常に重要な条件となる。また、来訪者の駐車については駐車による安全性への影響如何によっては、一部を街路側で受け持つこともありえよう。

このような観点から、前述のb、cの研究が必要なわけである。

表-1 路上駐車車両の使用者の住所分布(終日)

地区	普通自動車(大型車を含む)						軽自動車	合計
	地区内	地区周辺	同一市内	その他	不明	小計		
A	21	1	3	24	3	52	25	77
B	13	21	18	94	11	157	44	201
C	5	3	9	76	9	102	19	121
D	1	1	13	51	3	69	11	80

注) 地区周辺はおよそ500m以内とした

表-2 路上駐車車両の使用者の住所分布(朝および夜間)

地区	普通自動車(大型車を含む)						軽自動車	合計
	地区内	地区周辺	同一市内	その他	不明	小計		
A	18	0	1	12	1	32	14	46
B	8	7	4	49	4	72	26	98
C	4	0	7	55	6	72	14	86
D	1	1	7	46	3	58	7	65

表-3 夜間の実測駐車台数と推定保有台数

地区	夜間の実測駐車台数			自動車の推定保有台数
	駐車場	路上	計	
C	63	86	149	150
D	132	65	197	201

表-4 駐車目的

知人等を訪問	5 (7.7)
商品の集配等	5 (7.7)
車庫がわり	51 (78.6)
計	65 (100.0%)

表-5 自動車による来訪者の訪問回数

地区					
来訪種別	地区	I	II	III	IV
親類・知人の訪問		0.59	0.67	0.96	0.78
品物の集配		1.06	1.14	1.24	1.64
セールスマン等		0.35	0.59	1.06	0.71
ゴミの回収等		1.16	1.50	1.84	1.83
自営の場合の顧客		0.29	0.13	2.39	1.45
その他		0.06	0.04	0.09	0.12

単位は回/週/世帯